

月曜日

15

きょうのみことば

ローマ 14:1~12

あなたがたは信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見をさばいてはいけません。何でも食べてよいと信じている人もいますが、弱い人は野菜よりほかに食べません。食べる人は食べない人を侮ってはいけなしいし、食べない人も食べる人をさばいてはいけません。神がその人を受け入れてくださったからです。(13)

きょうだい 兄弟をさばいてはいけません

教会にはいろいろな人がいます。それを四字熟語で「* 十人十色」と言います。実際に、同じお母さんのお腹の中から出た双子であっても、おたがいにちがう部分があります。ところで、重要なのは、私とちがうだけであって、まちがっているのではないのです。

ですから、レムナントのみなさん、なにがなんでも「私が正しい!」と言いながら、意地をはらないでください。生まれたのがみなちがうように、考えと意見もちがうことがあります。さばかないでください。

信仰もおたがいにちがうこともあります。それで、新しい信徒と信仰が弱い兄弟・姉妹たちのために、ことばと行動に気を付けて、おたがいに尊重して手助けしなければなりません。生まれたばかりの赤ん坊が肉を食べることができないように、信仰の赤ん坊の兄弟・姉妹に負担をあたえてはいけません。まず先に、あたたかい霊的な乳を飲ませて、だんだん軟らかい霊的離乳食、霊的ごはんを食べさせなければなりません。

レムナントのみなさん、私たちは世界福音化という同じ目標を持って集まりました。サタンは教会共同体がワンネス(一つになること、Oneness)になることを破るために、誤解や、信じないこと、ねたみ、しつとで攻撃してきます。しかし、私たちはなおさらイエス・キリストの愛でワンネスにならなければなりません。

* 十人十色：考え方やこのみなどが、人によって、それぞれちがっていること

神様、友だちの中で、私とちがっているのに、なんとなくかまになんていない友だちがいます。それがサタンの攻撃であることを知りました。今日から信仰が弱い兄弟・姉妹を助けて、ちがうことを認めることができますように。おたがいに大切に大きな器になるように助けてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

うつわを大きくしよう

神様の許しのもとで、ヨブはサタンのこころみを受けました。ところが、おくさん、友だち、また、子どもたちまで、ヨブを指差して、さばきました。もしみなさんがヨブであれば、どんなことを言いますか。ふきだしの中にことばを書きましょう。



レムナント運動をしましろう



きょうのみことば

イザヤ 6:9~13

そこにはなお、十分の一が
残るが、それもまた、
焼き払われる。テレビの
木や軽の木が切り倒され
るときのように。しかし、
その中に切り株がある。
聖なるすえこそ、その
切り株。(13)

今、全世界の教会が崩れています。レムナントが準備されないからです。このままでよいのでしょうか。心配せずに下の3つをおぼえましょう。

最初に、私はレムナント運動をなさいと選ばれた人なのです。イスラエルがバビロンに捕囚された時、神様がイザヤにレムナント運動をまかせられたように、神様が私にレムナント運動をまかせられました。私たちは神様が呼ばれた理由(召命)をにぎることだけすればよいのです。

二つ目、福音エリートを準備します。幼い時からディクテイトタイムを守ったユダヤ人は成功しました。私たちも挑戦しましょう。朝起きて、今日しなければならぬことスケジュールを組む習慣を持ちましょう。おとなになってからは、するのはむずかしいです。幼い時から聖霊に導かれる福音エリートを準備していかなければなりません。

三つ目、RUTCのために祈りましょう。北朝鮮のピョンヤンにある「少年宮殿」は、子どもたちに勉強、舞踊、楽器、歌、演技などを集中的に教育する所です。北朝鮮の子どもたちは、幼い時からそこで金日成、金正日総書記の写真をおいて、共産主義思想を心の中に深く根をおろすようにします。このように、サタンは暗やみの文化を持って次世代を倒そうとしています。しかし、神様は福音文化を通して次世代が生かすことを望んでおられます。それで、RUTCが必要なのです。私たちみんながいっしょにRUTCのために祈りましょう。

神様、福音を伝える残された者(レムナント)として選んでくださってありがとうございます。ユダヤ人を生かす福音エリートとして規律を準備させてくださり、RUTCのために祈り、物質で献身するかっこいいレムナントにならせてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう



ダニエルは、ディクテイト
タイムを守るために、毎日、
一日もめれなくエルサレムに
向かって、3度、定刻祈りを
しました。なぜ祈ったので
しょうか。神様に新しい方を
受けて、神様に答えを受ける
時間だったからです。
みなさんはどうですか。
定刻祈りに毎日成功して
いますか。定刻祈りを通して
新しい力を受け、答えを受けて
いますか。定刻祈りがあり
できないなら、絵の中に
隠れている7つの絵を探し
ながら、今日、もう一度
定刻祈りにチャレンジして
みてください。

えんぴつ、かもめ、ろうそく、はし、はた、家、ヨット

水曜日

17

きょうのみことば

ローマ 1:16

私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。

おどろくべき福音と伝道の力 でんどう

すべての宗教は祈りをします。しかし、だれにするかが重要です。悪霊の前にする祈りは、結局、のろわれます。しかし、神様の子どもは、イエス様の御名で祈って、最高の答えであるインマヌエルを味わいます。

福音はすべての信じる者に救いをくださる神様の力です。それで、レムナントは生活の規律をととのえて準備しなければなりません。むずかしくありません。一つ一つはじめればよいのです。

明日から、とりあえず、朝に早く起きましょう。そして<子どもの祈りの手帳>を開いて定刻礼拝をささげてください。その次の日は、早く起きて<子どもの祈りの手帳>を開いて定刻礼拝をささげたあと、軽く運動をしてみてください。その次の日は、伝道したい友だちにあげる伝道資料を準備してみて、その友だちのために祈ってみましょう。

「とても大変です」と言うお友だちはいますか。それで、イエス様がキリストとして来られたのです。それでは、今日はこのように祈ってみましょう。

「神様、福音エリートになりたいのですが大変です。力を満たされるようにあたえてくださって、福音エリートになることができるように、規律と体質をそろえられるように助けてください。鳩のようにすなおで、蛇のようにかしこく福音を伝えられるようにさせてください。聖霊様が私の中に主人として働かれるように祈ります。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン」

このように祈れば、神様が答えて福音エリートらしい準備をさせてくださって、堂々と勝利できるのです。

聖書の主人公であるイエス様を私のキリストとして信じるように導いてくださってありがとうございます。私のすべての罪を十字架で解決した福音を伝える伝道者として祝福してください。福音エリートになって、神様に栄光をささげることができるように助けてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

ヨブ記2

信仰で忍耐したヨブ しんこう にんたい

ある日、サタンがまた主の前に立ちました。主がおっしゃいました。

「わたしのしもべヨブを見たか。ヨブのように潔白で正直で神をおそれ、悪から遠ざかっている者はひとりも世の中にいない。おまえがなんの理由もなく、わたしたちをそそのかして彼をほろぼそうとしたが、彼はむしろ信仰をしっかりとにぎっているではないか」

すると、サタンが言いました。

「皮のかわりには、彼をもつてします。人は自分のいのちを救うことならば、なんでも出します。主が彼の骨と肉とを精気になるようにすれば、彼はすぐに主をのろうでしょう」

主がおっしゃいました。

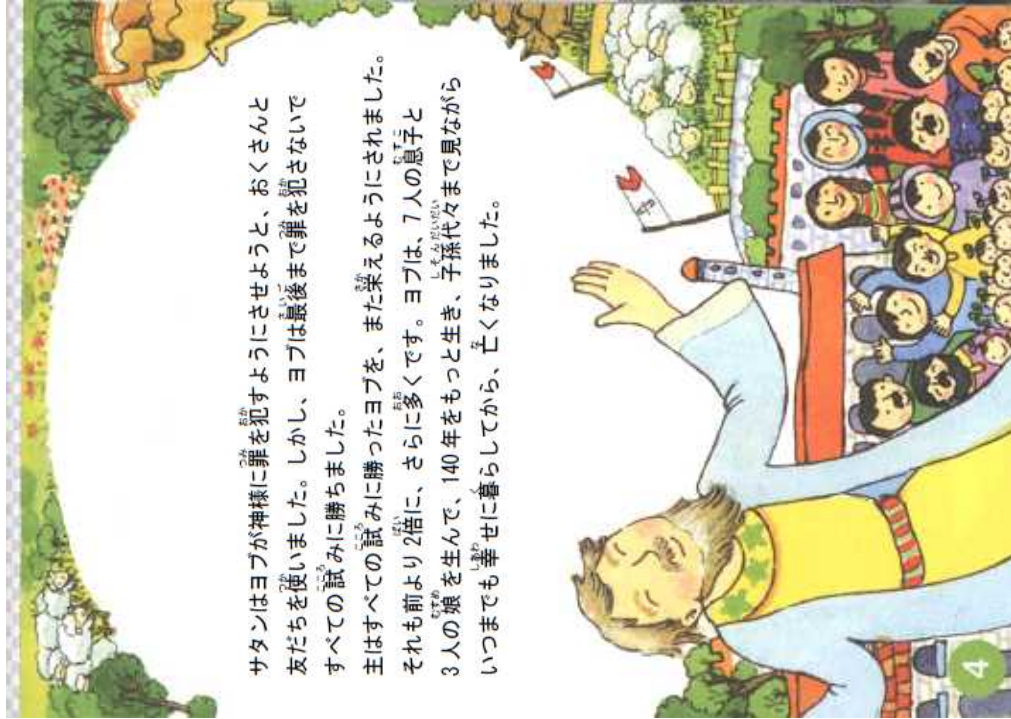
「わかった!彼をおまえの好きなようにしなさい。」

しかし、いのちだけはさわってはならない」

サタンは、頭をさげて、主の前から出て行きました。

サタンはヨブが神様に罪を犯すようにさせようと、おくさんと友だちを使いました。しかし、ヨブは最後まで罪を犯さず、すべての試みに勝ちました。

主はすべての試みに勝ったヨブを、また栄えるようにされました。それも前より2倍に、さらに多くです。ヨブは、7人の息子と3人の娘を生んで、140年をもっと生き、子孫代々まで見ながらいつまでも華せに暮らしてから、亡くなりました。



かならず留学に行かなければ なりませんか

木曜日
18

きょうのみことば

出 2:1-10

こんにちは。私は中国の留学生です。中国にきて2年が過ぎたのですが、勉強をがんばったほうではないので、そのまま遊んでしまいました。パパが今学期にまた成績がよくなければ、韓国に帰ってきなさいって、韓国でどのように勉強するのですか。友だちがいじめるのに、どうするのでしょうか。ちょっと助けてください。

その子が大きくなったとき、女はその子をバロの娘のもとに連れて行った。その子は王女の息子になった。彼女はその子をモーセと名づけた。彼女は、「水の中から、私がこの子を引き出したのです」と言ったからである。(10)。

あるレムナントから来た手紙です。レムナントのみなさん、留学はかならず行かなければならないのでしょうか。すべての人が留学に行くべきだとすれば、たぶん韓国にある学校はすべて門を閉ざさなければなりません。しかし、特殊な分野を勉強したいけれど、韓国にはそのような科目がないなら、留学に行かなければなりませんね。レムナントのみなさん、私のタラントが、何なのか、どのように準備しなければならいから、じっくりと考えてみて留学を決めなければなりません。ところで、どこにいても世界化を準備しなければなりません。読書とメモ、朝早く起きる習慣、困難に勝てる強い精神力がまさに世界化のための規律です。また、レムナントは世界を抱く考えを持って、各国の文化と思想を理解する大きい器をそろえなければなりません。そして、どこにいても世界を同時に見るべきです。神様はいつもレムナントそれぞれのタラントに合うように祝福の現場に導いてくださいます。

神様、留学に行く友だちをみれば、とてもうらやましいです。しかし、今日みことばを通して、私のタラントと未来のための準備を正しくしなければならいということを知りました。霊的な目を開けてください。全世界を抱く世界人にならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

★定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



「ああ、驚にできものが頭から足の裏までできてしまった…」
ヨアは炭の中に墜って、土塵のかけらで全身をかきました。サタンがヨアの全身にできものが出るようにしたのです。炭の中で全身をかいているヨアの姿を見たヨアのおくさんが驚きました。
「これがあなたが語った神様の恵みでしょうか。いつも神様をのろって死んでしまいなさいよ！」
ヨアはおくさんをかわいそうな目で尻つめながら話しました。「なぜそんなおろかなことを言うのか。私たちは神様に多くの恵みを受けて生きてきた。災いであっても、受けられない理由はない！」
ヨアは、最悪の状況の中でも笑って口で罪をおかしませんでした。



「ああ、きみほ！これは、どうしたことなのか！」
ヨアの友だちであるエリファス、ビルダテ、ツォナメルがヨアの受けたすべての災いを聞いて、ヨアをなぐさめるために話してきました。彼らは7日間、屋敷をヨアといっしょにいたのですが、どんななぐさめもできませんでした。
「おい、ヨア！いくら考えても、きみに罪がないなら、こういうことにあることはないだろう。はやく神様に悔い改めなさい！ヨアをなぐさめにきた友だちは、ヨアに誤りが確かにあると言ってしまうか。そして、ヨアをあざけりました。ヨアはとても苦しかったのです。
「いつまで私を困らせて、言葉でたたきつづぐのですか。しかし、神は、私の行く道を知っておられる。神は私を調べられる。私は金のように出て来る！」

金曜日

19

きょうのみことば

使徒 13:1~3

彼らが主を礼拝し、断食を
 していると、聖霊が、
 「バルナバとサウロを
 わたしのために聖別して、
 わたしが召した任務に
 つかせなさい」と
 言われた。そこで彼らは、
 断食と祈りをして、
 ふたりの上に手を
 置いてから、送り
 出した。(2~3)。

新しい時代に

私を送ってくださいました

みなさん、2010年はRUTC時代の新しい開始の年です。新しい開始のために、私たちは3つのことを分かなければなりません。

最初に、伝道に分かなければなりません。教会が福音の力をうしななっています。いろいろな宗 教と異端団体では、よい施設とアイデアで現場に静かに入っています。伝道はイエス様がキリストであることを信じて自慢することです。ところが、多くのレムナントが、イエス様がキリストであることを自慢できずにいます。イエス様がキリストであることを体験できないからです。神様にイエス様がキリストであることを体験させてくださいと祈ってみましょう。そうすれば、神様が体験する恵みをくださいます。キリストを体験した人は、だれでもイエス様を自慢する伝道者になります。

二つ目、宣教に分かなければなりません。2千年前、アンテオケ教会の信徒たちは、全世界を歩いて、あるいは船に乗って行って、宣教活動をしました。ちがうはだの色、地域、人間関係をすべてこえて、神様のうしなわれた霊的家族を探して努力しました。神様はレムナントもアンテオケ教会の信徒のように、宣教の真の意味と重要性を悟って、この働きをリードして立つことを望んでおられます。

三つ目、現場に分かなければなりません。神様をはなれた現場は、暗やみに完全におおわれています。ただ福音を持った伝道者だけが現場を生かします。伝道者が現場に出て行く時、聖霊が働かれて、暗やみの勢力は完全に縛られてはなれていきます。神の国がのぞむのです。

聖霊の神様、2010年は、RUTC時代の新しいはじまりです。私を伝道と宣教を分かるレムナントと呼んでくださって、感謝します。新しい時代に福音を宣べ伝えて、現場を生かす伝道者にならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

● 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTCのために祈りましょう

今日のみことばを見ると、アンテオケ教会では宣教師をはじめと送りました。神様は、聖霊で働いておられるために、できるのです。今月の「信仰の土台10」は聖霊がどのように働かれるかをよく知ることができる「神様の働き」についての内容です。下のように本を作って、えんぴつで、クイズをといてみましょう。

信仰の土台 10 を 本で つくりましょう！

(次のページの回りの白い部分を切り取って、はさみとえんぴつを用意しましょう)



1 半分おってから、実線にそって
はさみで切ってください



2 どんなふうにつくるの？
もういちど、半分おってください



3 おったまんなかに「ひしがた」のかたちを作って、そのままおってください



4 本ができました！えんぴつで本の中にあるクイズをといてね。

三番目の土台
はたら
神様の働き
(ヨハネ 14:1-3)

- 1 あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。
- 2 わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。
- 3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。



さ神さまのはたらき神ま
まのは神まのさたはさき
は神さた神のら神らま神
神さまのさき神きさのま
のは神きまらさ神きはら
は神のらのき神はらた神
神さまのはたらきまらの
の神まのたはき神らきた
たさのきらたはのまさ神
神き神たきはさの神はさ

*めちゃくちゃな字の中に「神さまのはたらき」ということばが5つあります。さがして、でかこんでください。(下から上のものもあります)

(ヨハネの福音書 14:1-3)

「聖霊が働かれます」

二番目の土台
はたら
神様の働き

信仰の土台 10



1 あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。

2 わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。

わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

*下線部のことばを書いてください

希望の大統領ルーズベルト



「心の中にある恐怖心のゆえに恐れることはない。神様が私たちとともにおられるので恐れることはないのだ」

アメリカと世界を変化させたアメリカの第32代大統領フランクリン・デラノ・ルーズベルトは(1882~1945) 1932年、1936年、1940年、1944年に大統領に選ばれました。

彼は大統領になるほど、障害者で有能な国際政治家になるほど、イエス・キリストの光が彼の中に臨む驚くべき働きを体験しました。

彼は39歳の年齢で、小児麻痺になって、障害者になって、足で歩くことができなくなりました。彼はたとえ車いすに乗らなければならなくなっても、自分の不幸に対し不平を言いませんでした。むしろ、神様に向かった愛と信仰がもっと深くなりました。

彼は病気でベッドにいる時間であっても、むだに過ぎないように多くの読書をしました。また、引き続き政治に関する勉強をしながら、苦しい闘病生活と障害という危機をかしく克服しました。結局、どんな苦しみも彼を揺さぶることはできませんでした。

彼はアメリカの経済恐慌を克服するために「ニューディール(New Deal)政策」を推進した人物です。

ニューディール政策は、失業者に働き口を作っけて、経済構造を改革して、大恐慌に低迷している経済を生き返らせるために推進された経済政策です。外交面でも、貿易の不均衡をなおして、改革が成功して、

国民生活も安定しました。

彼は、世界大戦中には、指導者の役割をして、戦争を終わらせるのにも多くの努力をしました。

ルーズベルトは、真実のクリスチャンで神様の子ども^{かくしん}の確信が確かでした。

大統領の一日は、とても忙しいので、大統領の演説文の作成を助ける人がいました。

しかし、彼は人々の助けより、神様がくださる知恵で演説文を作りました。

神様は、彼にいろいろな部分で優れた能力をくださいました。

彼は、状況がむずかしい時も、冗談と

軽い対話をしながら、少しの間、仕事を止めました。彼は少しの間、祈りと黙想をしたあと、仕事をさらにすばらしく終えました。

隣の家のおじさんのように安らかであって、人間的な大統領ルーズベルトは、神様に向かった真の信念を持って時代を生かしました。

レムナントのみなさんもルーズベルトのように、未来の大統領、政治家、指導者になる準備をして、暗やみにおおわれた政治、経済、社会、文化の現場にキリストの光を放つ福音エリートになりましょう。



★定刻祈りの点検：
昼 12時
教会のために祈りましょう。
夜 9時
RUTCのために祈りましょう